

## 循環型環境社会の構築の為の有機堆肥づくり実践事業

### 取組に至る背景・事業の目的

- これまで地域で行われた草刈りによる刈り草や河川、諏訪湖の水生植物を除去した場合、その多くが廃棄物として焼却処分とされていた。
- 近年、諏訪湖では浮遊植物のヒシが繁茂しており、船舶の航行に支障をきたす等様々な問題が生じている。除去により発生したヒシ等を堆肥化し土に返すことで、循環型社会の構築を目指し、併せて諏訪湖の浄化と温室効果ガス排出削減を図る。
- 作られた有機堆肥を学校等の公共施設の花壇で利用することにより、化学肥料の使用量を削減し、環境保全を図る。

### 事業内容

- ヒシ等の水生植物、刈り草の堆肥化の推進
- 専用堆肥ヤードの設置
- 近隣小中学校での堆肥利用による花壇づくり  
ラベンダー、カモミール、レモンバーム等の  
ハーブ植え付けによる交流の促進
- 地域住民や地域づくり団体での堆肥利用による農産物づくり



【 堆肥ヤード 】

### 事業効果

- 堆肥化を行った水生植物、刈り草の量は、92.7 t となり、前年に比べ約 3.4 倍に増加した。
- 堆肥を利用した花壇づくりは 5 か所で行われ、前年に比べ 2.5 倍に増えた。
- 地球温暖化防止のための温室効果ガス削減量は、水生植物等を焼却処分した時と比べ、20 t の効果があったと推計できる。また除去せずに、諏訪湖内でのメタン分解時と比べ、152 t の CO<sub>2</sub> 削減効果があったと推計できる。



【 ラベンダースティックづくり 】

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 地域の学校との交流として、堆肥を利用した花壇づくり、ハーブ加工品づくりを行い、循環型社会の意識啓発を行った。
- 福祉施設、地域農家の農産物づくりの協力として、堆肥利用を進め、循環型環境社会の構築活動を行った。
- 水分の多い水草（ヒシ）の運搬には大変苦労した。

#### 【選定のポイント】

諏訪湖の水生植物を堆肥化することで、焼却処理の必要が無く、温室効果ガス排出の削減が図られ、学校や関係団体との協働で堆肥利用が行われ、循環型社会の構築が期待できる。

団体名	諏訪湖浄化推進「和限」(下諏訪町)	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	代表 中村 義幸	事業費	1, 460, 249円
	電話 090-9358-4120	支援金額	568, 193円